



梅沢 政隆  
リポーター



大久保勝男  
リポーター

## 人は変われると信じて

社会を明るくする運動内閣総理大臣メッセージ伝達式 7月1日



市長に内閣総理大臣メッセージを伝達する一日保護司の5人

一日保護司に任命された三崎中学校の生徒5人が久慈地区保護司会らと市役所を訪問し、市長に内閣総理大臣メッセージを伝達。代表して小袖風雅さんが、さまざまな背景を持つ人が互いを理解しながら、犯罪や非行のない地域社会をつくることの重要性を訴えました。

## いつまでも元気で長生き

一般介護予防事業90代バスツアー 7月2日



かわい児童館園児と交流する参加者

いきいき百歳体操に参加している90代以上を対象にバスツアーを開催。18人と付き添い者が参加し、闘牛の牛舎見学や平庭山荘での交流などを楽しみました。かわい児童館の園児によるダンスも披露され、田澤セツさんは「いいものを見せてもらいました」と表情を緩めました。



## まちのわだい

### いきいき笑顔シニアスポーツ

シニアスポーツ大会 7月5日



1/ゲートボールリレーの勝利を喜ぶ小久慈チーム 2/チームの連携が光る山根チームの玉入れ 3/笑顔でボールをリレーする宇部チーム 4/優勝旗やトロフィーを受け取る夏井チーム

60歳以上が参加する久慈市いきいきシニアスポーツ大会が、市民体育館で開催されました。9地区から約400人が参加。玉入れやボール送りなど5つの競技で熱戦を繰り広げました。昼には3地区が応援を披露。昔懐かしい曲に合わせたダンスや工夫を凝らしたパフォーマンスで、会場を盛り上げました。閉会式では各チームで競技に参加した、85歳以上の選手23人が表彰され、最高齢の96歳の選手が表彰されると会場からは歓声が上がりました。

総合成績は、競技・応援の部ともに夏井チームが優勝。夏井チームの梅沢政隆さんは「多忙の中でしたが、初めて参加したメンバーを含めて、練習した成果が形に出てうれしいです」と喜びを語りました。

## 地元での就職を応援

令和6年度新卒者雇用支援奨励金贈呈式 6月25日



奨励金を受け取る東琉生さん(左)

若年者の地元定着を目的とした新卒者雇用支援奨励金の贈呈式を市内企業で実施。奨励金を受け取った東琉生さんは「今よりも仕事をたくさん覚えられるよう頑張りたい」と今後の意気込みを語りました。今年度は3年定着者37人と6年定着者30人に奨励金を贈呈する予定です。

## 地域を支える医療を体験

久慈病院オープンホスピタル 7月13日



赤ちゃんの沐浴の世話を体験する来場者

県立久慈病院でオープンホスピタルが開催されました。約170人が来場し、医療機器の操作や看護、検査業務などを体験。地域を支える病院の仕事に触れました。市内から訪れた生田陽光さんは「手術機械の操作を体験して、難しかったけど楽しかったです」と笑顔を見せました。

## 誰もがなりうるこころの病気

ゲートキーパー養成研修 7月16日



ゲートキーパーは悩んでいる人に気づき、声をかけてあげられる人です

ゲートキーパー養成研修が元気の泉で開催されました。25人が参加し、悩んでいる人への声のかけ方や対応の仕方について学びました。竹下真美子さんは「こころの病気への偏見がまだあると思うので、地域のゲートキーパーを増やすことが大切だと感じました」と語りました。

## 地域防災を担う消防団の技

第43回岩手県消防協会久慈地区支部消防操法競技会 7月7日



競技を行う第13分団

各市町村の大会を勝ち上がった分団が出場する久慈地区支部消防操法競技会が行われました。指揮者の選手賞を受賞した第13分団の角悦晶さんは「分団のみなさんのおかげで受賞できました。これからも消防団の活動を通じて、地域に貢献していきたいです」と思いを語りました。

## 津波てんでんこを再確認

防災研修 6月24日



震災遺構の旧気仙中学校前で説明を受ける参加者

長内市民センターが防災研修を開催し、参加者28人で陸前高田市を訪問しました。地元の語り部の案内で、旧気仙中学校をはじめ4か所の震災遺構と津波伝承館を見学。地震や津波の怖さと躊躇せずにより高い場所へ避難することの大切さを、改めて学習しました。(大石)

## 朝市のにぎわいが交流の場に

小久慈朝市 7月14日



にぎわいをみせる小久慈朝市

通算25回目の小久慈朝市が旧長内中学校で開催され、15の店が出店しました。出店者や来場者など350人が来場。採れたて野菜やじゅうね餅、田楽などを買い求める人のにぎわいでした。休憩所も設けられ、自家焙煎コーヒーを楽しむなど交流の場となっています。(大久保)

## 目玉商品大特価！ぜひ利用を

毎月3と8のつく日に開催される久慈の市日



会話を楽しみながら買い物。根強いファンも大勢

毎月開催される市日には、魚介類や野菜、果物、苗木など地元自慢の品々がずらりと並び、早朝から多くの人で賑わいます。天候に左右されながらも「待たれる・売れる・喜ばれる」の対面販売が楽しく続けられています。新鮮な食材やお土産探しにおすすめです。(八木沢)

## つなげよう 笑顔 元気 きずな

ふれあい福祉まつり 7月20日



スタンプラリーで木製のピンを倒すモルックに挑戦！

福祉の村でふれあい福祉まつりを開催。多くの人がバザーや模擬店で買い物を楽しんだり、点字や白杖などを体験するスタンプラリーを通じて、福祉への理解を深めていました。手話を体験した城内永遠さんは「言葉を体で表現することが楽しかった」と元気に語りました。



八木沢万寿美  
リポーター



小渡 正利  
リポーター



大石 純夫  
リポーター